

令和 5年 3月 10日

二宮町長  
村田 邦子 様

二宮町政策評価委員会  
委員長 大田 博樹

二宮町総合戦略評価に係る意見書の提出について

このたび、「二宮町総合戦略」の評価に対し、二宮町政策評価委員会としての意見を「施策評価シート」のとおり、とりまとめました。

また、とりまとめに際し、本委員会において、さまざまな意見交換が行われましたので、「二宮町総合戦略評価について（意見）」として、別添のとおり、提出します。

ご一読のうえ、今後の「二宮町総合戦略」の推進に活用くださいますよう、お願い申し上げます。

## 二宮町総合戦略評価について（意見）

「第2期二宮町総合戦略」に係る取り組みの令和3年度の進捗について、町の内部評価を踏まえ、二宮町政策評価委員会として評価を行いました。9本の施策については、概ね順調であると評価できるものの、施設再編や子育て・教育、産業などの分野での取り組みの拡充を求める意見や、適正な評価を実施するための課題についての意見が見受けられました。第2期総合戦略の最終年度の取り組みや、新たな第3期総合戦略の策定に際し、本委員会の意見を参考に今後の地方創生に関する取り組みを推進していただければと思います。

各委員から様々な意見が出された中で、総論として、次の4点について、意見を述べさせていただきます。

1点目は、施策1-1に位置付けた新庁舎整備を含めた施設再編についてです。昨年度の意見書にも記載しましたが、新庁舎整備は町民の生命を守るために必要なものであり、大規模災害時も含めたライフラインの要でもあるため、早急に進めるべきです。推進にあたっては、過去の意見書や町側の説明のとおり、引き続き防災の視点だけでなく、「二宮町公共施設再配置・町有地有効活用実施計画」や「新庁舎・駅周辺公共施設再編計画」の考え方を町民に丁寧に説明し理解を得ながら、持続可能なまちづくりを進めてください。

2点目は、施策1-2、1-3に位置付けた地域活動についてです。地域では伝統や慣習により相互扶助の取り組みが行われてきましたが、高齢化や独居世帯の増加などの影響を踏まえ、取り組みやあり方そのものを見直す必要があります。特に日中に活動できる役員や消防団員を確保するため、女性が参加しやすい環境を整えたり、中高生を含めた若い世代を巻き込む仕組みづくりを検討したりするなど、性別や年齢に関わらず幅広い町民の参画を促すアプローチが必要です。また、見直しにあたっては、継続性やコストを考慮しつつ、各地域の歴史や特性を踏まえた検討が必要です。

3点目は、施策2-1に位置付けた特色ある教育活動の推進についてです。教育環境の充実は、子育て世代への支援などとともに大きな移住要因となり得ることから、町として時代の変化に合わせた教育を行うために積極的な取り組みが必要となります。例えば、包括連携を結ぶ大学と協力しての大学生体験イベント実施や様々な分野で見識を有する方を講師として招き授業を行うなど、子どもたちが将来を豊かに楽しく過ごすための力を育てるため、特色ある教育について考え進めていくことが重要で

す。

4点目は、施策や取り組みの進捗を確認する KPI の設定についてです。現在の KPI の設定には、施策の進捗状況を評価するには不十分なものが見受けられます。適切な政策評価を行うためには、様々な角度から進捗状況を評価する複数の指標を設定する必要があります。また、施策と取り組み、各 KPI の関連性を町民に対しより分かりやすく伝える工夫が必要です。

最後に、本委員会の全体の議論が、本戦略で掲げる取り組みだけでなく、変化し続ける時代に柔軟に対応しつつも、持続可能で魅力あるまちづくりに資するよう、次期総合戦略の策定や関連する他の計画や取り組みにおいても PDCA サイクルとして活用されることを期待しています。

施策評価シート（令和3年度 実績）

基本目標	ひとが集い、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる
------	--------------------------

施策評価（施策主管部長）

施策	公共施設のマネジメントと新たな魅力の創出		評価者	政策部長		
施策内容	<p>今後の人口減少を視野に、ICT技術等の導入による行財政のスリム化と、コンパクトシティを考慮した施設の統廃合による公共施設の継続性をもった適正管理を進めます。</p> <p>また、未利用町有地を町民主体の運営組織による独創的で柔軟な活用を進めることで、自然の魅力を感じられ、多世代が気軽に集える新たな魅力となる場を創出します。</p>					
主な事業	予算等事業名		行政評価結果	KPI達成への有効性	説明	
	1	公共施設再配置	良好	有効だった	未耐震地域集会施設の耐震診断を行った。	
	2	財産管理経費	適当	有効だった	未耐震地域集会施設の耐震診断を行った。	
	3	東大果樹園跡地活用事業 ●推進交付金対象事業	適当	有効とは言えない	コロナの影響に伴い、イベントが予定通り実施できなかった。	
	4	新庁舎整備事業	良好	有効だった	ワークショップ等により意見を聴取し、基本計画を策定した。	
	5	行政改革の推進（まちづくり総合調整事業）	適当	有効だった	次期行政改革大綱を総合計画に包含する方向性を確認した。	
重要業績評価指標（KPI）①	指標名	公共施設の総延床面積（㎡）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	68,729.08	68,590.24	68,451.40	68,312.57	D
	実績		68,729.08	68,729.08	—	
	分析	総論については異論は出ないものの、個別施設の各論では、調整に時間を要している。				
	方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案			
重要業績評価指標（KPI）②	指標名	年少人口（15歳未満）の転入人数（人）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	143	160	170	180	A
	実績		123	171	—	
	分析	計画値を達成しており、取り組みは良好といえる。				
	方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案			
重要業績評価指標（KPI）③	指標名	東大果樹園跡地を活用したイベントの実施数（回）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	0	10	15	20	D
	実績		2	5	—	
	分析	コロナの影響により予定通りのイベントが開催できていない。				
	方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案			
重要業績評価指標（KPI）④	指標名	耐震未確認の地域集会施設数（施設）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	9	3	3	0	A
	実績		3	3	—	
	分析	計画通り取り組みが進んでおり、未確認施設についても将来の方向性を確認できている。				
	方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案			

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未耐震地域集会施設について必要な耐震診断を実施し、将来の方向性を確認した。</li> <li>・新庁舎並びに駅周辺のまちづくりについて、新庁舎・駅周辺公共施設再編計画を策定した。</li> <li>・東大果樹園跡地では、みらいはらっぱ事業がスタートした。</li> </ul>			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 公共施設再配置・町有地有効活用実施計画の進捗を確認し、見直しをする必要がある。</li> <li>② 東京大学果樹園跡地活用協議会、みらいはらっぱ活用事業者、行政の3者の連携。</li> <li>③ ホテル跡地を含めたラディアン周辺に行政機能を集約した将来の姿を示す必要性がある。</li> </ul>			
	改善点 (課題番号 に対応)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 新庁舎・駅周辺公共施設再編計画、小中一貫教育推進計画の反映と時点修正。</li> <li>② 広く町民に知って活用してもらうため、広報に努める。</li> <li>③ 果樹公園跡地の用地交渉と、行政機能を集約した基本設計に向けた仕様の整理。</li> </ul>			
	評価	<input type="checkbox"/>	地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/>	地方創生に相当程度効果があった
	<input checked="" type="checkbox"/>	地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	地方創生に対して効果がなかった	

外部評価（二宮町政策評価委員会）

施策評価	<input checked="" type="checkbox"/>	施策実現に向け対象や規模等の拡充が必要	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け順調であるため継続実施
	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け課題があるため見直しが必要		
意見	<p>● 耐震未確認の地域集会施設数などの目標値を概ね達成している点は評価できるが、庁舎を含む公共施設は町民全体のライフラインの要であり、一部施設の耐震性などに課題が生じ、現状は、町民にとって大きな不安材料となっている。公共施設は、災害時の拠点としての役割も有することから、新庁舎を含む公共施設の再編は町民との合意形成に努めながら、責任を持って前に進める必要がある。</p> <p>● 東大果樹園跡地は、みらいはらっぱ事業のスタートによる良い影響の期待はあるが、未だ限られた団体の活用が多いように感じられるところであり、手薄になっている中高生へのアプローチ方法の検討をはじめ、誰もが気軽に利用できるような環境の整備を進める必要がある。</p>			